

穂別町立博物館館報

第22号

平成16（2004）年度版

穂別町立博物館

目 次

- 沿 革 ----- (p . 1)
- 施 設 の 概 要 ----- (p . 4)
- 施 設 平 面 図 ----- (p . 4)
- 展 示 活 動 ----- (p . 5)
- 広 報 活 動 ----- (p . 6)
- 普 及 教 育 活 動 ----- (p . 7)
- 収 蔵 資 料 概 要 ----- (p . 1 0)
- 資 料 収 集 保 存 活 動 ----- (p . 1 0)
- 調 査 研 究 活 動 ほ か ----- (p . 1 6)
- 運 営 ----- (p . 1 7)

● 沿革

「この博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されたものである。」

穂別町立博物館は昭和50(1975)年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見がきっかけとなって建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石(自然史)」の研究・保存・普及と「町の歴史(人文)」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約10年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物(化石)を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。その後現在にいたるが、ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

I 「建設の目的」と「展示更新」の基本的考え方

〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

(昭和55(1980)年11月26日)

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町70年(町制施行20年)を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

〈展示更新の基本的考え方〉

(平成2(1990)年6月27日)

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。』

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の1頁1頁であることを理解させる博物館とする。』

Ⅱ 沿革

*本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」あるいは「ホベツアラキリュウ」などの使い分けを行っているが、以下に従っている。

- ・「長頸竜」：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式。
- ・「首長竜」：分類学上の名称としては適切ではないが、この場合「発掘調査団」の固有名称として使用。
- ・「クビナガリュウ」：正式には「蛇頸竜目」または「長頸竜目」あるいはそのカタカナ綴りにするべきであるが、通俗名として普及しているために本の題名として用いられたのであるから、この場合固有名称として使用。
- ・「ホベツアラキリュウ」：昭和52(1977)年7月5～8日に「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された標本の名称。

昭和50(1975)年

6月：穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部採集。発見者：荒木新太郎氏（穂別町在住）。

昭和51(1976)年

9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）、荒木氏発見の化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定依頼。

昭和52(1977)年

2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道。白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部と確認。
7月5～8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。後に、この標本を「ホベツアラキリュウ」標本と命名。

昭和53(1978)年

5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始
11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和54(1979)年

5月：長頸竜化石骨、穂別町指定文化財第2号に指定

昭和55(1980)年

10月16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和56(1981)年

3月13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

昭和56(1981)年

7月～12月：博物館建設工事
9月1日：鈴木 茂学芸員就任（～昭和60年3月31日）

昭和57(1982)年

1月16日：長頸竜復元作業開始
3月～6月：博物館展示工事
7月20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）
8月26日：「博物館協議会」発足
11月1日：北海道博物館協会加入
12月19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開
12月19日～1月23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

昭和58(1983)年

3月2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）
3月28日：「博物館協力会」設立
4月1日：日本博物館協会加入
4月28日：菅原康次（第二代）館長就任
7月22日～8月7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」
8月1日：全国科学博物館協議会加入
11月1日～3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

昭和59(1984)年

2月：村上 隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊
3月27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始
6月14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成
11月1日～4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」
12月1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和60(1985)年

3月30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始
5月1日：地徳 力学芸員就任（～平成11年3月31日）
11月1日～10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

昭和61(1986)年

10月21日～11月9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

昭和62(1987)年

1月1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）
7月28日～8月9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

昭和63(1988)年

- 7月17日：第三展示室（保存庫）完成
- 8月23日～9月4日：特別展（第5回）「穂別のカメラ化石」
- 10月6日：今 幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元(1989)年

- 6月30日：仲谷 英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表
- 7月18日～8月20日：特別展（第6回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」
- 9月29日～10月6日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティール古生物学博物館に派遣

平成2(1990)年

- 7月23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館
- 8月18日～9月16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」
- 9月3日～5日：レイド、M. G. 氏（アルバータ州ティール古生物学博物館）来館
- 12月31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

平成3(1991)年

- 4月1日：佐藤 稔（第七代）館長就任
- 4月28日、29日：入館者10万人突破記念事業

平成4(1992)年

- 2月1日：展示更新工事開始
- 4月23日～25日：カリ、P. J. 氏（アルバータ州ティール古生物学博物館）来館
- 4月29日：展示更新完了、一般公開再開

平成6(1994)年

- 4月1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
- 4月1日：川上 源太郎学芸員就任（～平成10年3月31日）

平成7(1995)年

- 7月15日～9月12日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティール古生物学博物館に派遣、研修。
- 8月12日：かせき学習館完成

平成8(1996)年

- 7月27日～28日：'96北海道化石サミット開催（穂別町民センター）
- 10月6日：大江美津夫（第九代）館長就任

平成9(1997)年

- 7月6日、7月10日～8月31日：クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展（第8回特別展）

平成10(1998)年

- 4月1日：櫻井和彦学芸員就任（現任）
- 6月11日：星 功（第十代）館長就任
- 8月11日～8月31日：特別展（第9回）「地球物語り（地質学普及書の近代史）」

平成11(1999)年

- 1月1日：山田 正（第十一代）館長就任
- 5月29日：入館者30万人突破記念事業
- 8月1日～8月31日：特別展（第10回）「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
- 10月5日～11月28日：特別展（第11回）「穂別の自然」

平成12(2000)年

- 8月1日～8月31日、9月14日～10月1日：特別展（第12回）「穂別の石-川原の石から見た穂別」
- 9月14日～10月1日：日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」

平成13(2001)年

- 8月1日～8月25日：特別展（第13回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」

平成14(2002)年

- 4月28日～5月17日：特別展（第14回）「ツノのある奇妙なカメラ海-穂別からリクガメ化石の発見-」
- 7月1日～21日：特別展（第15回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」（再公開）
- 7月20日：開館20周年記念講演・討論会「化石の里（まち）の博物館」
- 7月27日～8月9日：博物館協力会企画展「穂別の化石」
- 8月31日～9月27日：特別展（第16回）「穂別のカメラ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」

平成15(2003)年

- 1月1日：清川博之（第十二代）館長就任（現任）
- 7月20日～8月31日：特別展（第17回）「穂別を泳いだモササウルス」
- 11月1日～1月31日：特別展（第18回）「虫とくらし」（協力：北海道開拓記念館）

平成16(2004)年

- 7月17日～8月31日：特別展（第19回）「クジラとデスモスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
- 10月30日～12月12日：特別展（第20回）「火山と地震 -佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」

●施設の概要

【位 置】

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

【穂別町立博物館】

【構造規模】

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m²

常設展示室	372.88m ²
特別展示室	99.08m ²
収蔵庫	86.56m ²
事務室	40.50m ²
研究室	31.50m ²
整理室	29.92m ²
学習展示室	184.75m ²
書庫	35.05m ²
共用部門	219.76m ²

【工 期】

昭和56年度～57年度

【総事業費】

3億6,216万5,000円

【展示更新】

平成3年度～平成4年度：博物館展示替え工事

平成5年度：マルチスライド、イメージソフト制作

【更新事業費】

平成3年度～4年度：99,910,000円（内消費税2,910,000円）

平成5年度：6,890,700円（内消費税 200,700円）

【かせき学習館】

【構造規模】

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m²

事務室	56.70m ²
作業室	56.70m ²
書庫	14.04m ²
レプリカ室	12.15m ²
処 理 室	12.15m ²
展示物保管庫	162.00m ²
共用部門	12.15m ²

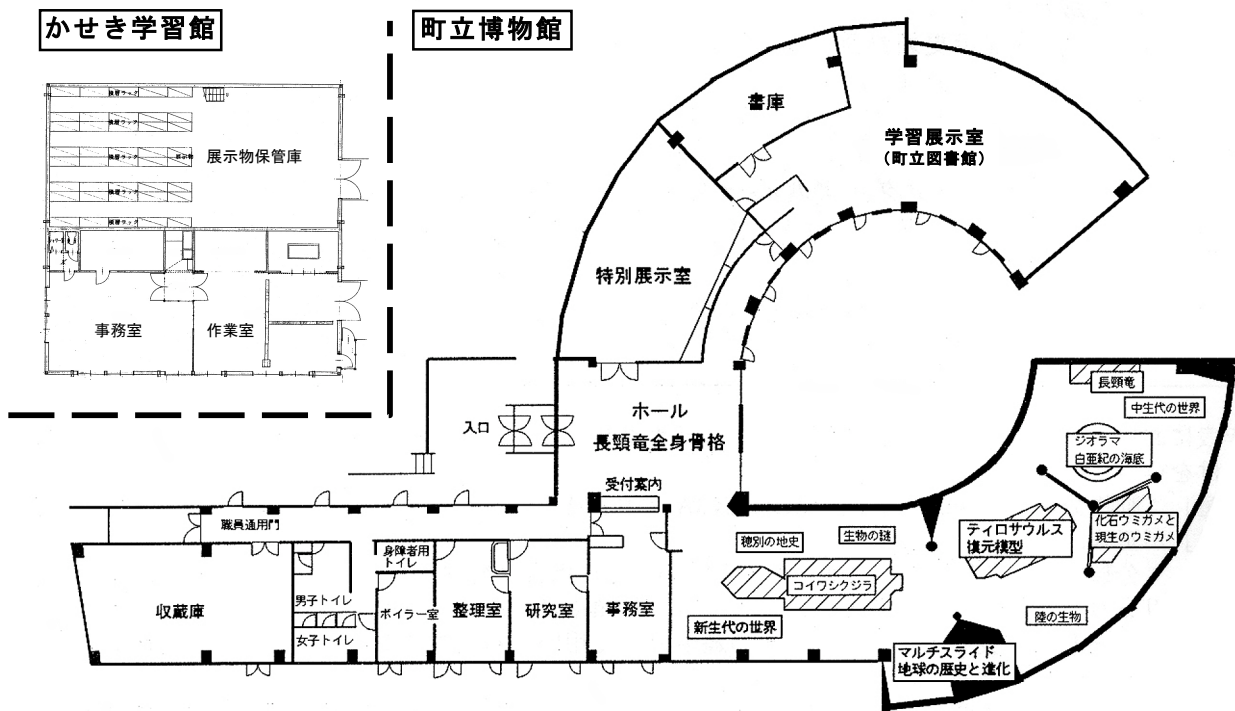
【工 期】

平成7年度

【総事業費】

5,709万2,900円（消費税込み）

●施設平面図



● 展示活動

I 常設展示

穂別町内から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

【常設展示の変更】

平成16(2004)年4月28日：展示資料のラベル入換（寄贈者名・受入年月日を明記）

平成16(2004)年7月2日：常設展示資料配置替え（一部追加・入替）

平成17(2005)年2月18日：博物館探検シート（全8枚）設置

【常設展示資料】

種別	分類		点数	計
化石	脊椎動物	魚類	7	244
		爬虫類（長頸竜10*・モササウルス8*・カメ6・他3）	27	
		哺乳類（クジラ8・デスモスチルス2・他9*）	19	
	その他動物	軟体動物（頭足類89・腹足類30・斧足類40・他4）	169	
		その他（甲殻類7・その他9）	16	
	植物	4		
生痕	2			
現生生物	脊椎動物	爬虫類（カメ）	3	12
		哺乳類（クジラ5・鯨類1）	6	
	その他動物	軟体動物（頭足類）1・甲殻類1	2	
	植物	1		
復元模型	脊椎動物	爬虫類（長頸竜1・モササウルス1・カメ1）	3	3
その他	岩石標本等		21	21
合計				280

*：レプリカ含む

（2005年3月31日現在）

II 特別展示

【夏季特別展】「クジラとデスモスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」：平成16(2004)年7月17日～8月31日

穂別町で発見される新生代の哺乳類化石（クジラとデスモスチルス）について、収蔵資料を一通り展示するとともに、関連標本を近隣博物館などから借用して紹介。

開催期間中に、特別展会場（特別展示室）にてデスモスチルスの歯のレプリカ作成体験を実施。

【秋季特別展】「火山と地震-佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」：平成16(2004)年10月30日～12月12日

当館に寄贈・保管されている佐々保雄北海道大学名誉教授の一括資料の紹介と、その中で特に胆振・日高地域の火山や地震に関する研究を取り上げて紹介。

III 年間入館者数

分類		平成12年度 (2000)	平成13年度 (2001)	平成14年度 (2002)	平成15年度 (2003)	平成16年度 (2004)
個人	一般	11,281	9,911	10,355	8,300	8,155
	学生	4,278	3,832	4,367	3,740	3,621
団体	一般	1,112	1,143	877	781	570
	学生	2,221	2,403	1,348	679	944
計		18,892	17,289	16,947	13,500	13,290

学生は小学校～高校生、一般は高校生より上、幼児（無料）はこの表には含まれていない（単位：人）

個人：割引入館者（地球体験館との共通利用割引）・無料入館者（特定入館日、減免等）含む、団体：10名以上

● 広報活動

【ホッピーだより（博物館広報紙）】

- 233号<平成16(2004)年4月>：「マイ・ミュージアム紹介／平成16年度 博物館の行事」
- 234号<平成16(2004)年5月>：「寄贈資料の紹介ほか」
- 235号<平成16(2004)年6月>：「植物写真の撮影とプリント会／第3回マイ・ミュージアム」
- 236号<平成16(2004)年7月>：「夏の特別展『クジラとデスモスチルス』紹介」
- 237号<平成16(2004)年8月>：「特別展開催中／マイ・ミュージアム出展募集」
- 238号<平成16(2004)年9月>：「夏の特別展終了／第4回マイ・ミュージアム」
- 239号<平成16(2004)年10月>：「秋の特別展『火山と地震』／第5回マイ・ミュージアム」
- 240号<平成16(2004)年11月>：「特別展『火山と地震』開催中／穂別の野山の花」
- 241号<平成16(2004)年12月>：「特別展『火山と地震』／第6・7回マイ・ミュージアム」
- 242号<平成17(2005)年1月>：「2005年はホベツアラキリュウ発見30年」
- 243号<平成17(2005)年2月>：「第6回マイ・ミュージアム／『穂別の動物』CD作成します」
- 244号<平成17(2005)年3月>：「ホッピー化石アドベンチャー／第7回マイ・ミュージアム」

【穂別町観光案内】

さうるす（第16号）<平成17年3月発行>の特集記事にて紹介

【新聞掲載】

北海道新聞苫小牧圏「とまにち博物誌」

- 第6回：平成16(2004)年5月19日：「デスモスチルス-柱束ねたような歯・今も研究中の動物」
- 第7回：平成16(2004)年7月21日「クジラとイルカ-1500万年前には海の中・化石に穂別の歴史」
- 第8回：平成16(2004)年9月15日「穂別町の貝化石-現代の海にも生息・1500万年前が身近に」
- 第9回：平成16(2004)年11月10日「新冠泥火山-断層から粘土噴出・堆積し8つの丘に」
- 第10回：平成17(2005)年1月26日「ほべつ道民の森-多彩な動植物生息・観察会開いてPR」
- 第11回：平成17(2005)年3月23日「穂別の野生動物-多彩な鳥や哺乳類・自然の豊かさ実感」

【テレビ放映】

- 平成16(2004)年4月7日：NHK「ほくほくテレビ」（博物館・体験館から生中継）で紹介
- 平成16(2004)年6月25日：NHK「ほくほくテレビ」（ファクトリーから生中継）で紹介

【その他】

- 平成16(2004)年4月23日：屋外掲示板の設置
(協力：博物館協力会)

●普及教育活動

※利用者の区分は以下の通り

小：小学校～高校生、大：一般

I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

【夏季特別展】（第19回）「クジラとデスマスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」

期間：平成16(2004)年7月17日～8月31日
(4,350人)

<特別展関連事業>

「レプリカ作り」（デスマスチルスの歯）

実施：8月4日～6日（小14、大6）

「特別展 展示解説」

実施：8月7日、10日～12日（小28、大43）

【秋季特別展】（第20回）「火山と地震-佐々保雄 北海道大学名誉教授一括資料展」

期間：平成16(2004)年10月30日～12月12日
(1,248人)

【ホッピー化石アドベンチャー】

：登録会員を対象に、一年を通じて穂別の博物館と化石を学ぶ。平成16年度の会員は9名（町内小～中学生）。全7回実施。

第1回<平成16(2004)年4月24日>開会式・「博物館ってなんだろう？」：博物館・展示室の見学
(小7)

第2回<平成16(2004)年5月29日>「化石クリーニングとレプリカ作り」（「土よう日の集い」共催）：(小8)

第3回<平成16(2004)年8月7日>「クジラとデスマスチルスの秘密！」：展示室・特別展見学
(小8)

第4回<平成16(2004)年9月11日>「穂別の昔の生き物をさがそう！」：化石採集（小9）

第5回<平成16(2004)年11月20日>「クビナガリュウとモササウルスの秘密！」：展示見学（小5）

第6回<平成17(2005)年1月15日>「穂別のウミガメとリクガメの秘密！」：展示見学（小7）

第7回<平成17(2005)年2月20日>「ほべつのうみのいきものひみつ！」（小学生）・「この骨なんの骨？」（中学生）・閉会式：展示見学（「土よう日の集い」共催）（小8、うち会員外1）

【マイ・ミュージアム<特別展示室開放事業>】

：特別展示室を町民に開放し、各自の作品やコレクションを展示してもらうことを通じて、博物館に対して親しみを持ってもらおう。

第2回<平成16(2004)年4月1日～5月23日>

「ミニミニ海竜・恐竜展」（見学4,330人）

第3回<平成16(2004)年6月5日～13日>「怪獣・おもちゃ展」（見学506人）

第4回<平成16(2004)年9月10日～23日>「ヒーロー・ヒロイン&いろいろぬいぐるみ展」（見学548人）

第4回マイ・ミュージアム クイズ（70人）

第5回<平成16(2004)年10月9日～24日>「昔の穂別の写真展&マイコレクション展」（見学601人）

第6回<平成17(2005)年1月29日～2月15日>「はく製で見る穂別の野生どうぶつ展」（見学91人）

第6回マイ・ミュージアム クイズ（小31、大5）

第7回<平成17(2005)年3月12日～27日>「穂別の花・私の花 展」（見学129人）

【植物写真撮影プリント会】

：デジタルカメラによる植物の写真撮影とパソコンによるプリント（穂別高校公開講座と共催）

実施：平成16(2004)年6月19日（小0、大3）

※「土よう日の集い」：穂別町教育委員会 社会教育事業

Ⅲ 町内団体の利用と対応

特に表記のないものは案内の伴わない展示見学

【町内学校・教育関係団体】

平成16(2004)年5月：

27日：転入教職員町内視察＜展示案内＞（大15）

29日：穂星寮生（1年）町内見学＜展示案内＞
（小11、大2）

平成16(2004)年6月：

16日：穂別町立稲里小学校＜化石採集＞
（小8、大4）

18日：穂別町立穂別中学校1年総合学習「地域
見学」＜展示案内・質問対応＞（小3）

19日：さくら保育園（幼児11）

24日：町教研理科サークル＜化石採集＞（大6）

25日：穂別町立穂別中学校1年総合学習「地域
見学」（補足）＜展示案内＞（小6）

平成16(2004)年7月：

16日：穂別町立仁和中学校3年総合学習＜人文
系資料収蔵庫の案内＞（小4、大2）

平成16(2004)年9月：

1日～2日：北海道立穂別高校インターンシッ
プ＜博物館業務の体験＞（小1）

16日：町教研理科サークル＜キノコ観察会＞
（大7）

平成16(2004)年10月：

7日：北海道立穂別高校3年地学1A＜化石採
集＞（小41、大2）

8日：穂別町立富内小学校総合学習＜展示案
内＞（小2、大1）

20日：穂別町立富内小学校5年総合学習＜展示
案内＞（小2、大1）

29日：穂別町立仁和小学校総合学習＜人文系資
料収蔵庫の案内＞（小4、大1）

平成16(2004)年12月

4日：穂星寮バス見学会＜展示案内＞
（小7、大13）

平成17(2005)年2月

2日：穂別町立稲里小学校＜人文系資料収蔵庫
の案内＞（小1、大1）

3日：穂別町立稲里小学校＜第6回マイ・ミュ
ージウム案内＞（小6、大4）

平成17(2005)年3月

10日：穂別町立穂別小学校（北海道新聞社の取
材）＜展示案内＞（小3、大2）

12日：穂別町立稲里小学校＜第7回マイ・ミュ
ージウム案内＞（小6、大5）

【町内各種団体】

平成16(2004)年12月

2日：穂別地球体験館サイエンスガイド研修
＜展示案内＞（大2）

平成17(2005)年3月

10日：穂別地球体験館サイエンスガイド研修
＜展示案内＞（大2）

IV 町外団体の利用と対応

対応したものは<>で内容を示してある。
特に表記のないものは案内の伴わない展示見学。

【町外学校・教育関係団体】

平成16(2004)年5月：

7日：様似高校（小65、大4）

26日：札幌市立篠路西中学校2年<展示案内>
（小35、大2）

30日：三石町教育委員会「わんぱくチャレンジ
スクール」<展示案内>（小41、大2）

平成16(2004)年6月

1日：札幌市立南が丘中学校（小159、大12）

9日：札幌市立前田中学校（小168、大10）

11日：南富良野町立幾寅小学校（小21、大3）

15日：長沼高校（小102、大7）

17日：平取町立平取中学校教諭<展示案内>
（大5）

24日：岡山県立津山高校（小31、大2）

平成16(2004)年7月

2日：札幌市立退職員協議会（大46）

14日：占冠中央小学校<展示案内>
（小10、大1）

16日：平取中学校（小43、大4）

21日：日高小学校（小20、大3）

29日：恵庭市学童保育所（小55、大4）

平成16(2004)年8月

6日：千歳青少年教育財団<展示・特別展案
内>（小20、大2）

10日：門別町地域子供会（小30、大4）

20日：小樽商科大学マンドリンクラブ<人文系
資料収蔵庫・作業場の見学>

平成16(2004)年9月

5日：新冠町図書館（小1、大31）

7日：日高町教育委員会高齢者大学「沙流川大
学」<展示案内>（大24）

11日：新冠町郷土資料館「探検クラブ」<展示
案内>（小28、大2）

14日：苫小牧市鉄北地区民生児童委員（大20）

平成16(2004)年10月

10日：北海道自然文化教育促進会<展示案内>
（小35、大9）

平成16(2004)年11月

13日：札幌大学文学部学芸員課程（大39）

16日：富川ひばり幼稚園（幼児42、大3）

19日：富川ひばり幼稚園（幼児51、大3）

26日：富川ひばり幼稚園（幼児34、大3）

【町外各種団体】

平成16(2004)年7月

22日：由仁町役場日赤奉仕団（大30）

平成16(2004)年9月

14日：苫小牧市鉄北地区民生児童委員（大20）

16日：北海道はまなす食品(株)（大13）

平成16(2004)年10月

2日：日本生命手稲星置営業所（大26）

2日：帯広北若葉会（大11）

15日：酪寿会ハイキング部（大26）

28日：静内桜風園（大16）

30日：東胆振広域協議会バスツアー

（小14、大95）

平成16(2004)年11月

13日：佐々保雄元北大教授ご家族<展示・特別
展案内>（大9）

● 収蔵資料概要 (登録資料)

【自然史系登録資料 (HMG)】 1,180点

地質・化石資料

【自然系登録資料 (HMB)】 115点

現生動植物資料

【人文系登録資料 (HMC)】 3,832点

民俗・歴史資料

計5,127点 (2005.3.31.現在)

● 資料収集保存活動

I 寄 贈

(敬称略)

【自然史系資料】(16件・228点)

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2004-016	学習用ノジュール	59	菅原昭二
2004-022	アンモナイト顎器?	1	千歳化石会
2004-024	イノセラムス含岩石	1	千歳化石会
2004-025	アンモナイト含岩石	1	千歳化石会
2004-030	化石含有ノジュール	136	堀田良幸
2004-031	脊椎動物化石	4	堀田良幸
2004-038	礫(地層中で変形)	1	宇治雄亮
2004-043	イノセラムス	1	千歳化石会
2004-057	化石含有ノジュール	3	千歳化石会
2004-059	化石含有ノジュール	2	千歳化石会
2004-060	アンモナイト	1	千歳化石会
2004-062	アンモナイト	1	博物館協力会
2004-063	化石含有ノジュール	4	博物館協力会
2004-067	青函トンネル貫通石等	5	佐々直道
2004-068	樽前火山噴出物	5	荒川忠宏
2004-069	アンモナイトほか	3	笠巻 袈裟男

【自然系資料】(9件・36点)

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2004-021	クマ毛皮	1	中條玉枝
2004-035	昆虫標本	1	小林慧子
2004-036	動物標本	1	山田 正
2004-037	動物標本	1	田中 豊
2004-042	動物標本	1	渋谷隆明
2004-070	剥製標本	6	記伊正義
2004-073	剥製標本	5	記伊正義
2004-074	骨格標本	5	記伊正義
2004-075	エゾフクロウ写真	15	中沢 忠

【人文系資料】(10件・97点)

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2004-32	クマ捕獲写真	1	中條玉枝
2004-33	中島網場等写真	3	阿部三郎
2004-45	ノコ	2	小田春吉
2004-46	富内線豊田駅写真	30	横山宏史
2004-47	中島網場等写真	8	阿部三郎
2004-48	稲里学校等写真	11	山本義栄
2004-49	芸能発表写真	1	深谷米男
2004-65	鉄器	1	佐々木賢二
2004-71	剥製(民芸品)	1	森山トヨ
2004-78	土器・石器	39	藤岡孫一

【その他】(1件・6点)

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2004-29	岩石用タガネ	6	古野竹志

II 採 集

【自然史系資料】(268点)

化石含有ノジュール等(白亜紀) : 112
 脊椎動物化石(白亜紀) : 1
 化石含有ノジュール(第三紀) : 154
 脊椎動物化石(第三紀) : 1

【自然系資料】(3件)

現生貝標本 : 1件
 現生動物標本 : 2件

【人文系資料】(0件)

III 野外調査活動

【現地調査】 21回

4月 : 16、25、29日
 5月 : 12、19日
 6月 : 8、11日
 7月 : 11日
 8月 : 4、5、21、25日
 9月 : 29日
 10月 : 1、24日
 11月 : 7、10、11、17、26日
 12月 : 22日
 内訳 :

博物館協力会と合同調査 : 4回
 千歳化石会と合同調査 : 5回

IV 新規登録資料

登録番号：資料名／受入番号／寄贈（採集）者名

【自然史系資料（HMG）】（化石・地質）100点

- HMG-1081：イノセラムス (*Inoceramus hobetsensis*) /1983-050/菅原康次
HMG-1082：イノセラムス (*Inoceramus japonicus*) /1988-007/笠巻 袈裟男
HMG-1083：翼竜デラウエア標本（レプリカ）
／未登録により新規登録
HMG-1084：アンモナイト (*Metaplacenticeras subtilistriatum*) /1993-012/岩田 正敏
HMG-1085：クジラ化石（詳細不明）/2004-072
／荒木 新太郎 (1980. 11. 30 採集)
HMG-1086：巻貝化石 (*Fulgoraria prevostiana magna*) /1981-060/田中 岩男
HMG-1087：巻貝化石 (*Turritella poronaiensis*)
／1984-032/佐藤 進
HMG-1088：巻貝化石 (*Turritella poronaiensis*)
／1984-032/佐藤 進
HMG-1089：二枚貝化石 (*Venericardia* sp.)
／1984-035/鈴木 茂
HMG-1090：二枚貝化石 (*Venericardia* sp.)
／1984-035/鈴木 茂
HMG-1091：アンモナイト (*Pachydiscus japonicum*?) /2002-051/山越組 (株)
HMG-1092：二枚貝化石 (*Macoma optiva*)
／1986-048/穂別町教育委員会
HMG-1093：単体サンゴ/1998-095/阿部 利春
HMG-1094：単体サンゴ/2000-012
／千歳化石会
HMG-1095：単体サンゴ/2000-014
／千歳化石会
HMG-1096：単体サンゴ/採集・寄贈者不明
HMG-1097：ウニ/採集・寄贈者不明
HMG-1098：ウニ/1981-027/鈴木 茂
HMG-1099：ハコエビ (*Linuparus japonicus*)
／1982-111/江崎 洋一
HMG-1100：生痕化石/1992-002/小林 享
HMG-1101：アンモナイト (*Nostoceras hetonaiense*) /1985-035/笠巻 袈裟男
HMG-1102：アサヒガニモドキ (*Notopocorystes japonicus*) 1982-018-23/荒木 新太郎
HMG-1103：ムカシブク (*Linthia nipponica*)
／採集・寄贈者不明
HMG-1104：亀甲石/2002-020/小林 繁
HMG-1105：イノセラムス/2003-058/穂別町
立博物館採集
HMG-1106：二枚貝化石/2003-059-01/穂別町
立博物館採集
HMG-1107：クジラ化石（詳細不明）/1995-027
／渋谷 隆明
HMG-1108：クジラ化石（ヒゲクジラ?）
／1996-011/服部 義幸
HMG-1109：スナモグリ (*Callianassa?* sp.)
／1981-015-1/佐藤 博義
HMG-1110：スナモグリ (*Callianassa?* sp.)
／1981-020/笠巻 袈裟男
HMG-1111：スナモグリ (*Callianassa?* sp.)
／1982-176/鈴木 茂
HMG-1112：スナモグリ (*Callianassa?* sp.)
／2002-027/阿部 利春
HMG-1113：スナモグリ (*Callianassa?* sp.)
／2002-027/阿部 利春
HMG-1114：クジラ化石（詳細不明）/1986-086-1
／地徳 力
HMG-1115：クジラ化石（詳細不明）/1993-003
／地徳 力
HMG-1116：クジラ化石（詳細不明）/1993-004
／地徳 力
HMG-1117：クジラ化石（詳細不明）/2002-030
／小林 数美
HMG-1118：クジラ化石（詳細不明）/1994-204-1
／渋谷 直憲
HMG-1119：クジラ化石（詳細不明）/1994-204-2
／渋谷 直憲
HMG-1120：クジラ化石（詳細不明）/1994-204-3
／渋谷 直憲
HMG-1121：クジラ化石（ヒゲクジラ?）
／2000-022/笠巻 袈裟男
HMG-1122：クジラ化石（詳細不明）/2000-021
／穂別町立博物館
HMG-1123：ケントリオドン頭骨化石 (*Kentriodon hobetsu* Ichishima, 1994; レプリカ, 着色)
／2004-019/足寄動物化石博物館 作製
HMG-1124：ケントリオドン頭骨化石 (*Kentriodon hobetsu* Ichishima, 1994; レプリカ, 無着色)
／2004-019/足寄動物化石博物館 作製
HMG-1125：デスモスチルス歌登第3標本頭骨
(*Desmostylus hesperus*; レプリカ) /1985-005
／木村 方一
HMG-1126：クジラ化石（ハクジラ?）
／2004-020/笠巻 袈裟男
HMG-1127：クジラ化石（詳細不明）/1995-044
／河崎 元也
HMG-1128：カメ化石/1992-035/服部 義幸
HMG-1129：カメ化石/2002-052/堀田 良幸
HMG-1130：青函トンネル貫通石1 (1980. 3. 採
集, 日本鉄道建設公団青函建設局他)
／2004-067/佐々 直道
HMG-1131：青函トンネル貫通石2 (1978. 10. 4.
採集, 日本鉄道建設公団青函建設局他)
／2004-067/佐々 直道
HMG-1132：アンモナイト (*Damesites*)

- semicostatus*) /1981-033a/鈴木 茂
HMG-1133 : アンモナイト (*Damesites hetonaiense*) /1981-020/笠巻 袈裟男
HMG-1134 : アンモナイト (*Damesites damesi*) /1981-005/穂別町教育委員会
HMG-1135 : アンモナイト (*Romaniceras (Yubariceras) yubarence*) /1982-018-27 /荒木 新太郎
HMG-1136 : アンモナイト (*Romaniceras* sp.) /1981-061A/荒木 新太郎
HMG-1137 : アンモナイト (*Damesites sugata*) /1981-033b/鈴木 茂
HMG-1138 : アンモナイト (*Collignoniceras* ? sp.) /1981-026/浅野 勝司 (HMG-1139と共産)
HMG-1139 : アンモナイト (*Gaudryceras tenuliratum*) /1981-026/浅野 勝司 (HMG-1138と共産)
HMG-1140 : アンモナイト (*Damesites damesi*) /1981-026/浅野 勝司
HMG-1141 : アンモナイト (*Jimboiceras* sp.) /1983-048-14/博物館協力会化石部会
HMG-1142 : アンモナイト (*Jimboiceras planulatitum*) /1983-048-27/博物館協力会化石部会
HMG-1143 : アンモナイト (*Yokoyamaoceras* sp.) /1982-118/笠巻 袈裟男
HMG-1144 : アンモナイト (*Menuites pusillus*) /1984-047-2/鈴木 茂
HMG-1145 : アンモナイト (*Menuites* sp.) /1982-118/笠巻 袈裟男
HMG-1146 : アンモナイト (*Menuites* sp.) /2004-076/長岡 晴道
HMG-1147 : アンモナイト (*Sciponoceras* sp.) /1982-018-23/荒木 新太郎
HMG-1148 : アンモナイト (*Sciponoceras intermedium*) /1982-197/荒木 新太郎
HMG-1149 : アンモナイト (*Sciponoseras cf. kossmati*) /1984-049-2/鈴木 茂
HMG-1150 : アンモナイト (*Sciponoseras* ? sp.) /1981-033b/鈴木 茂
HMG-1151 : アンモナイト (*Neocrioceras* sp.) /1981-033b/鈴木 茂
HMG-1152 : アンモナイト (*Polyptychoceras (Subptychoceras)* sp.) /1983-031/鈴木 茂
HMG-1153 : アンモナイト (*Turrilites* sp.) /1983-064-1/鈴木 茂
HMG-1154 : アンモナイト (*Scalarites* sp.) /1983-048-26/博物館協力会化石部会
HMG-1155 : アンモナイト (*Scalarites* sp.) /1983-048-3/博物館協力会化石部会
HMG-1156 : アンモナイト (*Polyptychoceras* sp.) /1984-075-4/鈴木 茂
HMG-1157 : アンモナイト (*Kichinites* sp.) /1981-034a/鈴木 茂
HMG-1158 : アンモナイト (*Protexanites* sp.) /1983-031-1/鈴木 茂
HMG-1159 : アンモナイト (*Protexanites* sp.) /1983-031-1/鈴木 茂
HMG-1160 : アンモナイト (*Scaphites* sp.) /1982-018-26/荒木 新太郎 (HMG-1161と共産)
HMG-1161 : アンモナイト (*Scalarites* sp.) /1982-018-26/荒木 新太郎 (HMG-1161と共産)
HMG-1162 : アンモナイト (*Gaudryceras denseplicatum*) /1981-066/鈴木 茂
HMG-1163 : アンモナイト (*Gaudryceras denseplicatum*) /1981-066/鈴木 茂
HMG-1164 : アンモナイト (*Gaudryceras denseplicatum*) /1981-066/鈴木 茂
HMG-1165 : アンモナイト (*Romaniceras (Yubariceras)* sp.) /1982-178/笠巻 袈裟男
HMG-1166 : アンモナイト (*Romaniceras (Yubariceras)* sp.) /1982-018-4/荒木 新太郎
HMG-1167 : オウムガイ (*Cymatoceras aff. teshioensis*) /2004-077/採集・寄贈者不明
HMG-1168 : 軟骨魚類 (板鰓類) /1995-015 /渋谷 直憲 (HMG-1065と共産)
HMG-1169 : 軟骨魚類 (板鰓類) /1995-023 /地徳 力
HMG-1170 : 軟骨魚類 (板鰓類) /1995-025 /川上 源太郎
HMG-1171 : 軟骨魚類 (板鰓類) /1995-030 /川上 源太郎
HMG-1172 : 硬骨魚類 /1997-023/笠巻 袈裟男
HMG-1173 : 軟骨魚類 (板鰓類) /1999-038 /千歳化石会
HMG-1174 : 軟骨魚類 (板鰓類) /2003-004 /堀田 良幸
HMG-1175 : 硬骨魚類 /1981-045/鈴木 茂
HMG-1176 : 硬骨魚類 /1984-014-2/鈴木 茂
HMG-1177 : 硬骨魚類 /1982-171/笠巻 袈裟男
HMG-1178 : 硬骨魚類 /1982-018/荒木 新太郎
HMG-1179 : 硬骨魚類 /1982-036-1/鈴木 茂
HMG-1180 : 硬骨魚類 /2004-015/穂別町立博物館
- 【自然系資料 (HMB)】 (現生生物) 27点**
- HMB-89 : ハコエビ全身 (*Linuparus trigonus*) /1992-005/山田 和彦
HMB-90 : オウムガイ殻 (*Nautilus pompilius*) /寄贈者不明
HMB-91 : クジラ肋骨 /1985-015/橋本 義信
HMB-92 : クジラ尾椎 /寄贈者不明
HMB-93 : クジラ胸椎 /1984-036/橋本 義信
HMB-94 : クジラ頸椎 /2002-023/笠巻 袈裟男
HMB-95 : ネズミイルカ骨格標本 (*Phocoena phocoena*) /1996-009/穂別町立博物館

- HMB-96 : エゾシカ (雌) 頭骨 (*Cervus nippon yezoensis*) /2002-019/千歳化石会
- HMB-97 : エゾシカ (雄) 頭骨 (*Cervus nippon yezoensis*) /2000-019/穂別町立博物館
- HMB-98 : イイズナ剥製 (*Mustela nivalis*) /1988-027/小石川 進一
- HMB-99 : キレンジャク剥製 (*Bombycilla garrulus*) /1989-002/小林 瞳
- HMB-100 : コガモ剥製 (*Anas crecca crecca*) /2004-070/記伊 正義
- HMB-101 : カルガモ剥製 (*Anas poecilorhyncha zonorhyncha*) /2004-070/記伊 正義
- HMB-102 : カルガモ剥製 (*Anas poecilorhyncha zonorhyncha*) /2004-070/記伊 正義
- HMB-103 : マガモ剥製 (*Anas platyrhynchos platyrhynchos*) /2004-070/記伊 正義
- HMB-104 : ヤマシギ剥製 (*Scolopax rusticola*) /2004-070/記伊 正義
- HMB-105 : トラブズク剥製 (*Asio otus otus*) /2004-070/記伊 正義
- HMB-106 : エゾライチョウ (雄) 剥製 (*Tetrastes bonasia vicinitas*) /2004-073/記伊 正義
- HMB-107 : キンクロハジロ (雄) 剥製 (*Aythya fuligula*) /2004-073/記伊 正義
- HMB-108 : キジ (雄) 剥製 (*Phasianus colchicus*) /2004-073/記伊 正義
- HMB-109 : ヤマドリ (雄) 剥製 (*Phasianus soemmerringii*) /2004-073/記伊 正義
- HMB-110 : ヤマドリ (雌) 剥製 (*Phasianus soemmerringii*) /2004-073/記伊 正義
- HMB-111 : エゾヒグマ頭骨 (*Ursus arctos yesoensis*) /2004-074/記伊 正義
- HMB-112 : エゾタヌキ頭骨 (*Nyctereutes procyonoides albus*) /2004-074/記伊 正義
- HMB-113 : キタキツネ頭骨 (*Vulpes vulpes schrencki*) /2004-074/記伊 正義
- HMB-114 : ズウ切歯 /2004-074/記伊 正義
- HMB-115 : ズウ切歯 /2004-074/記伊 正義
- HMC-3729 : 古写真 (旧国鉄富内線豊田駅) /2004-046/横山 宏史
- HMC-3730 : 古写真 (艦上爆撃機「穂別村號」) /2004-047/阿部 三郎
- HMC-3731 : 古写真 (満州開拓, 昭19) /2004-047/阿部 三郎
- HMC-3732 : 古写真 (中島網場, 昭12?) /2004-047/阿部 三郎
- HMC-3733 : 古写真 (中島網場, 昭12?) /2004-047/阿部 三郎
- HMC-3734 : 古写真 (中島網場, 昭12?) /2004-047/阿部 三郎
- HMC-3735 : 古写真 (苗取り<福山>, 昭34?) /2004-047/阿部 三郎
- HMC-3736 : 古写真 (粕まき<長和>, 昭38?) /2004-047/阿部 三郎
- HMC-3737 : 古写真 (クロム鉱山で働いていた人たち) /2004-047/阿部 三郎
- HMC-3738 : 古写真 (中穂別の青年査閲, 昭12) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3739 : 古写真 (中穂別男女青年団, 昭16) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3740 : 古写真 (卒業記念<稲里>, 昭16) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3741 : 古写真 (国道274号工事<穂別青年団>, 昭16) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3742 : 古写真 (国道274号工事<穂別青年団>, 昭17) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3743 : 古写真 (国道274号工事<穂別青年団>, 昭18) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3744 : 古写真 (結婚式<稲里>, 昭24) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3745 : 古写真 (お葬式<稲里>) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3746 : 古写真 (稲里小中学校落成式祝賀記念, 昭32) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3747 : 古写真 (粕落とし<稲里>, 昭40) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3748 : 古写真 (稲運び<稲里>, 昭40) /2004-048/山本 義栄
- HMC-3749 : 古写真 (芸能発表会<豊田>, 昭40) /2004-049/深谷 米男
- HMC-3750 : 古写真 (流送まつり) /2004-050/穂別町役場 政策調整課
- HMC-3751 : 古写真 (流送まつり) /2004-050/穂別町役場 政策調整課
- HMC-3752 : 古写真 (仮装パレード) /2004-050/穂別町役場 政策調整課
- HMC-3753 : 古写真 (穂別の街中を走る気動車) /2004-050/穂別町役場 政策調整課
- HMC-3754 : 古写真 (富内駅) /2004-050/穂別町役場 政策調整課
- HMC-3755 : 古写真 (穂別市街, 昭10) /2004-051/穂別町史より複製
- HMC-3756 : 古写真 (穂別市街) /2004-051/穂別町史より複製
- HMC-3757 : 古写真 (穂別駅) /2004-051/穂別町史より複製
- HMC-3758 : 古写真 (穂別駅) /2004-051/穂別町史より複製
- HMC-3759 : 古写真 (穂別町立病院) /2004-051/穂別町史より複製
- HMC-3760 : 古写真 (穂別郵便局) /2004-051/穂別町史より複製
- HMC-3761 : 古写真 (富内市街) /2004-051

【人文系資料 (HMC)】 (生活・歴史等) 103点

／穂別町史より複製
HMC-3762：古写真（仁湾市街，昭10）
／2004-051／穂別町史より複製
HMC-3763：古写真（栄市街，昭43）／2004-051

／穂別町史より複製
HMC-3764：古写真（豊田市街，昭44）
／2004-051／穂別町史より複製
HMC-3765：古写真（辺富内橋と市街，昭10）
／2004-051／穂別町史より複製
HMC-3766：古写真（茂別小学校，昭42）
／2004-051／穂別町史より複製
HMC-3767：古写真（大和小中学校，昭42）
／2004-051／穂別町史より複製
HMC-3768：古写真（新登川小学校，昭40）
／2004-051／穂別町史より複製
HMC-3769：古写真（キウス橋）／2004-052
／磯野 治雄
HMC-3770：古写真（旧役場，昭47）／2004-053
／提供者不明
HMC-3771：古写真（公民館，昭27～48）
／2004-053／提供者不明
HMC-3772：古写真（中島網場）／2004-053
／提供者不明
HMC-3773：古写真（村葬）／2004-053／提供者不明
HMC-3774：古写真（馬）／2004-053／提供者不明
HMC-3775：古写真（町民センター）／2004-054
／提供者不明
HMC-3776：古写真（穂別町立病院）／2004-054
／提供者不明
HMC-3777：古写真（水稻共同育苗施設）
／2004-054／提供者不明
HMC-3778：古写真（建物，詳細不明）
／2004-054／提供者不明
HMC-3779：古写真（穂別アスパラガス株式会社）
／2004-054／提供者不明
HMC-3780：古写真（道森連・穂別チップ工場）
／2004-054／提供者不明
HMC-3781：古写真（風景-町，詳細不明）
／2004-054／提供者不明
HMC-3782：古写真（工事現場，穂別ダム？）
／2004-054／提供者不明
HMC-3783：古写真（風景-山，詳細不明）
／2004-054／提供者不明
HMC-3784：古写真（穂別小学校，昭35）
／2004-054／提供者不明
HMC-3785：古写真（穂別中学校，昭36）
／2004-054／提供者不明
HMC-3786：古写真（稲里小中学校，昭43）
／2004-054／提供者不明
HMC-3787：古写真（長和小学校，昭43）
／2004-054／提供者不明

HMC-3788：古写真（富内中学校，昭42）
／2004-054／提供者不明
HMC-3789：古写真（富内小学校，昭43）
／2004-054／提供者不明
HMC-3790：古写真（福山小中学校，昭43）
／2004-054／提供者不明
HMC-3791：古写真（和泉小学校，昭43）
／2004-054／提供者不明
HMC-3792：古写真（仁和小学校，昭43）
／2004-054／提供者不明
HMC-3793：古写真（仁和中学校，昭43）
／2004-054／提供者不明
HMC-3794：古写真（穂別高等学校，昭46）
／2004-054／提供者不明
HMC-3795：古写真（石槍：縄文）／2004-054
／提供者不明
HMC-3796：古写真（環状石斧：縄文・擦文）
／2004-054／提供者不明
HMC-3797：古写真（土器：擦文）／2004-054
／提供者不明
HMC-3798：古写真（土器：縄文）／2004-054
／提供者不明
HMC-3799：古写真（中野式土器）／2004-054
／提供者不明
HMC-3800：古写真（北大式土器）／2004-054
／提供者不明
HMC-3801：古写真（後北式土器）／2004-054
／提供者不明
HMC-3802：古写真（亀ヶ丘式土器）／2004-054
／提供者不明
HMC-3803：古写真（円筒式土器）／2004-054
／提供者不明
HMC-3804：古写真（須恵器）／2004-054
／提供者不明
HMC-3805：古写真（紡錘車）／2004-054
／提供者不明
HMC-3806：古写真（チャシコツ）／2004-054
／提供者不明
HMC-3807：古写真（キケパラセ、イノウ）
／2004-054／提供者不明
HMC-3808：古写真（酒器，銅製）／2004-054
／提供者不明
HMC-3809：古写真（酒器，木製）／2004-054
／提供者不明
HMC-3810：古写真（茅葺き屋根）／2004-054
／提供者不明
HMC-3811：古写真（装飾品？，詳細不明）
／2004-054／提供者不明
HMC-3812：古写真（あいかき<除草機>）
／2004-054／提供者不明
HMC-3813：古写真（大株間除草機）／2004-054
／提供者不明

HMC-3814 : 古写真 (農機具?) /2004-054
 /提供者不明
 HMC-3815 : 古写真 (昭和初期の穂別町市街,
 昭23<航空写真>) /2004-055/提供者不明
 HMC-3816 : 古写真 (昭和初期の中島, 昭23
 <航空写真>) /2004-055/提供者不明
 HMC-3817 : 古写真 (昭和中期の穂別町市街,
 昭45<航空写真>) /2004-055/提供者不明
 HMC-3818 : 古写真 (昭和45年頃の栄・仁和地
 区<航空写真>) /2004-055/提供者不明
 HMC-3819 : 古写真 (昭和45年頃の富内地区
 <航空写真>) /2004-055/提供者不明
 HMC-3820 : 古写真 (昭和45年頃の福山地区
 <航空写真>) /2004-055/提供者不明
 HMC-3821 : 古写真 (昭和45年頃の穂別炭坑
 <航空写真>) /2004-055/提供者不明
 HMC-3822 : 古写真 (昭和45年頃の新登川炭坑
 <航空写真>) /2004-055/提供者不明
 HMC-3823 : 古写真 (昭和後期の穂別町市街,
 昭53<航空写真>) /2004-055/提供者不明
 HMC-3824 : 古写真 (豊田駅, 昭35)
 /2004-056/HMC-3729の複製
 HMC-3825 : 古写真 (豊田駅のホームと元駅長,
 昭36) /2004-056/HMC-3729の複製
 HMC-3826 : 古写真 (汽車を待つ人々, 昭38)
 /2004-056/HMC-3729の複製
 HMC-3827 : 古写真 (駅舎内で駅長の話を書く
 人々, 昭35) /2004-056/HMC-3729の複製
 HMC-3828 : 古写真 (下車して改札口に向かう
 人々) /2004-056/HMC-3729の複製
 HMC-3829 : 古写真 (改札口で切符を渡す人)
 /2004-056/HMC-3729の複製
 HMC-3830 : 古写真 (輸送する子豚の重さを量
 る元駅長) /2004-056/HMC-3729の複製
 HMC-3831 : 古写真 (大きな荷物をリヤカーで
 運ぶ) /2004-056/HMC-3729の複製

V 資料の貸出

平成6(1994)年8月17日～平成17(2005)年3月31日
 ウミガメ化石 (HMG-366, 367, 1053, 1054, 1055 :
 5点) : 早稲田大学 平山 廉博士 (旧所属 : 帝京
 平成大学)
 平成7(1995)年4月1日～平成17(2005)年3月31日
 アンモナイト (HMG-842)・イノセラムス (HMG-883)
 (2点) : 穂別地球体験館
 平成7(1995)年5月11日～平成17(2005)年3月31日
 ウミガメ化石 (HMG-1063, 1064 : 2点) : 早稲田
 大学 平山 廉博士 (旧所属 : 帝京平成大学)
 平成7(1995)年4月1日～平成17(2005)年3月31日
 剥製標本 (HMB-2, 3, 4, 7, 9, 11, 12, 17, 19,
 21, 22, 25, 26, 29, 30, 40, 41, 43, 98, 99 :
 20点) : 穂別町立穂別小学校
 平成8(1996)年6月14日～平成17(2005)年3月31日
 剥製標本 (HMB-36, 47 : 2点), ジオラマ (HMC-2797,
 2798, 2799, 2821 : 4点) : 穂別町立穂別小学校
 平成9(1997)年6月27日～平成17(2005)年3月31日
 アンモナイト (HMG-911, 936 : 2点) : 工業技術
 院地質調査所地質標本館 利光誠一博士
 平成16(2004)年4月30日～平成16(2004)年12月28日
 アンモナイト (HMG-740, 743 : 2点) : 工業技術
 院地質調査所地質標本館 利光誠一博士
 平成16(2004)年7月7日～平成16(2004)年9月15日
 スナモグリ化石 (HMG-1109, 1110, 1112, 1113 :
 4点), 門別町産カニ化石 (未登録 : 1点), 現生
 カブトガニ剥製 (未登録 : 1点) : 千歳サケのふ
 るさと館
 平成16(2004)年7月29日～平成16(2004)年9月10日
 民族資料 (HMC-327, 3122, 3123, 3125, 3126, 3128,
 17, 1305, 3130, 3131, 18, 1881 : 17点) : 穂別
 町アイヌ民族文化保存会
 平成16(2004)年10月22日～平成17(2005)年3月29日
 長頸竜化石 (HMG-1079 : 1点) : 北海道大学総合
 博物館 箕浦 名知男博士

●調査研究活動ほか

I 脊椎動物化石の研究

【総論】

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)・小野昌子(日高山脈館)：穂別町，日高町とその周辺地域で新たに確認された脊椎動物化石 -特にモササウルスとクジラについて-。日本地質学会第111年年会(千葉)ポスター発表，講演要旨P-186。

II その他の研究

【博物館活動】

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)・村上 隆(穂別町立博物館)：穂別町立博物館の20年 -クビナガリュウ‘ホッピー’と歩んだ博物館の歴史-。穂別町立博物館研究報告。第20号。p. 1-25。

III 刊行物

【穂別町立博物館研究報告】

第20号，25頁：平成16(2004)年7月31日発行
＜掲載論文＞

櫻井和彦・村上 隆：穂別町立博物館の20年 -クビナガリュウ‘ホッピー’と歩んだ博物館の歴史-。p. 1-25。

【穂別町立博物館館報】

第21号(2003年度版)，17頁
：平成16(2004)年7月発行

IV 学会・大会・研修会等への参加

【学会・研修会等】

[日本地質学会]

平成16(2004)年9月18日～20日：

日本地質学会第111年年会・学術大会(千葉市)
ポスター発表(共著)

【博物館協会等の大会・研修会等】

[北海道博物館協会]

平成16(2004)年6月24日～25日：

北海道博物館協会学芸職員部会 総会・研修会(芦

別市)：初日のみ参加

平成16(2004)年7月8日～9日：

第43回北海道博物館大会(帯広市)

平成16(2004)年10月7日：

ミュージアム・マネジメント研修会(今金町)：
欠席

[日胆地区博物館等連絡協議会]

平成16(2004)年6月2日～3日：

日胆博協 総会(日高町)

平成16(2004)年10月19日～20日：

日胆博協 博物館職員研修(静内町)：欠席

平成17(2005)年2月22日：

日胆博協 拡大委員会(苫小牧市)：欠席

V 協力団体との連携

【穂別町立博物館協力会】

平成16(2004)年4月：

23日：屋外掲示板設置協力

25日：穂別町立博物館協力会 役員会

平成16(2004)年5月：

13日：穂別町立博物館協力会 総会

22日：学習用地 水洗

平成16(2004)年8月：

4日：高速道工事現場 合同調査

25日：高速道工事現場 合同調査

16日：町教研(理科)キノコ観察＜講師依頼＞

平成16(2004)年10月：

1日：高速道工事現場 合同調査

平成16(2004)年11月：

10日：合同調査(穂別町内)

【千歳化石会】

平成16(2004)年4月：

25日：合同調査(穂別町内)

29日：合同調査(穂別町内)

平成16(2004)年7月：

11日：合同調査(穂別町内)

平成16(2004)年10月：

24日：合同調査(穂別町内)

平成16(2004)年11月：

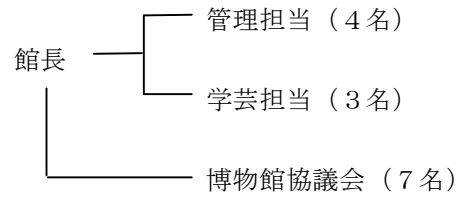
7日：合同調査(穂別町内)

21日：千歳化石会 総会(千歳市)

I 行事等

- 平成16(2004)年 6月：
 29日：夏季特別展資料借用（北海道教育大学札幌校）
 30日-7月1日：夏季特別展資料借用（足寄動物化石博物館）
- 平成16(2004)年 7月：
 2日：夏季特別展資料借用（北海道開拓記念館）
 30日：第1回博物館協議会
- 平成16(2004)年 9月：
 2日-3日：夏季特別展借用資料返却（北海道開拓記念館，北海道教育大学札幌校，足寄動物化石博物館）
- 平成16(2004)年11月：
 18日-19日：添田学芸員（北海道開拓記念館）来館，共催事業の打合せ
- 平成16(2004)年12月：
 21日：秋季特別展借用資料返却（苫小牧市博物館）
 22日：中村記念館の管理・運営について打合せ

II 組 織



- 博物館協議会委員(平成17(2005)年3月31日現在)
- 会 長 北 倉 了 一
 副会長 窪 田 敬 一
 委 員 小石川 武 美
 委 員 荒 木 新太郎
 委 員 大久保 玲 子
 委 員 内 海 由起江
 委 員 佐 藤 稔
 (任期：平成18(2006)年7月31日まで)

職員名簿（平成17(2005)年3月31日現在）

館 長	清 川 博 之
〈管理担当職員〉	
主 幹	石 黒 和 徳
臨時職員（受付）	芥 川 紀 子
臨時職員（受付）	深 谷 文 子
臨時職員（清掃）	多 村 こゆる
〈学芸担当職員〉	
学芸員	櫻 井 和 彦
生涯学習推進アドバイザー	村 上 隆
臨時職員（補助員）	高 橋 義 道

Ⅲ 利用状況

【常設展示観覧者】

平成15(2003)年4月～平成(2004)年3月

月	一般	学生	計	開館日
4	607	640	871	26
5	2,430	1,296	3,726	25
6	572	649	1,221	26
7	1,058	572	1,630	31
8	2,014	1,096	3,110	31
9	683	249	932	23
10	788	217	1,005	26
11	332	88	420	23
12	51	24	75	24
1	38	30	68	24
2	27	19	46	24
3	125	61	186	25
計	8,725	4,565	13,290	308

(単位：人・日)

【博物館特定入館日】

<国際博物館の日>

国際博物館会議（イコム、ICOM）のモスクワ大会（1977年）にて制定され、日本では平成14年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」（5月18日）の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

<博物館開館記念日関連事業>

7月20日の開館記念日に関連して、平成16(2004)年7月17日(土)～7月23日(金)を町民無料観覧の日とした。

[博物館特定入館日に伴う町民無料入館]

実施日	行事名	一般	学生	計
5.18	国際博物館の日	2	0	2
7.17～23	博物館開館記念日 (7日間)	3	0	3
9.15	敬老の日	3	2	5
11.3	文化の日	3	0	3
11.23	勤労感謝の日	7	1	8
'05.1.10	成人の日	2	1	3
計	延べ12日	20	4	24

学生：小・中・高校生 (単位：人)

【学校週五日制関連事業】

<町内児童生徒に対する入館料減免>

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、穂別町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。(学芸対応分を除く)

平成16年度の利用者数：272人

Ⅳ 歳入

区 分		有料入館者数	使用料
一般	個人	3,994	1,198,200
	団体	570	114,000
	割引	3,853	697,600
学生	個人	1,601	160,100
	団体	944	47,200
	割引	1,677	67,400
小計		12,639	2,284,500
諸収入		物品販売代	10,800
		私用電話料	317
小計			11,117
合 計			2,295,617

(単位：人・円)

Ⅴ 歳出

費 目	決算額
博物館施設管理経費	13,407,654
博物館協議会経費	35,660
生涯学習推進アドバイザー設置経費	2,007,716
博物館資料収集及び調査研究事業	353,426
博物館施設改修事業	290,000
博物館費合計	16,094,456

(単位：円)

VI 利用案内

【開館時間】

午前9時30分～午後4時30分

【休館日】

- ・毎週月曜日。
 - ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日、日曜日及び月曜日にあたる場合は火曜日。
 - ・館内整理日。
 - ・12月31日～1月5日。
- *ただし、7、8月は休まず開館。

【観覧料】

	一般	*学生
個人	300円	100円
**団体	200円	50円
***割引	100円	無料

注：未就学児童は無料（要大人の付添い）

* 学生：小・中学生・高校生

** 団体：10人以上

***割引：地球体験館との共通利用割引

【減 免】

「(穂別町立) 博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない(穂別町立博物館設置条例、第6条)」が「(穂別町) 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる(同条例、第7号)」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

穂別町立博物館施行規則第6条条例第7条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

(教育目的)

1) 穂別町立小・中学校及び北海道穂別高等学校の児童生徒が教育を目的として入館する場合

(研究目的)

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合

(福祉目的)

3) 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第14条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

4) 精神薄弱者福祉法(昭和35年法律第144号)第18条に規定する町内の精神薄弱者福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

(公益目的)

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に教育長が必要と認める場合

穂別町立博物館館報 第22号

平成16(2004)年度

発行 2005年10月

発行者 穂別町立博物館

〒054-0211

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

TEL/FAX (01454) 5-3141